

【特別調査】

アベノミクスによる当面の影響等調査

1. 調査目的：当所会員事業所のアベノミクス効果の影響を調査し、今後の意見活動等に反映すること。
2. 調査期間：平成25年 6月18日 ～ 6月28日（11日間）
3. 調査方法：（1）市内に本店を置き、FAX番号登録のある当所会員事業所
（2）平成25年度第1四半期景気動向調査とあわせて調査
4. 調査対象：5,300 先
5. 回答数：1,538 先（回答率 29.0%）

調査企業数	回答企業数	回答率
5,300	1,538	29.0

（回答企業の規模別構成比）

	構成比	事業所数
全 体	100.0%	1,538
1～5人	44.3%	681
6～20人	34.9%	537
21～50人	11.1%	171
51～100人	4.7%	73
101～300人	3.6%	55
301人以上	1.4%	21

（回答企業の業種別構成比）

	構成比	事業所数
全 体	100.0%	1,538
建設業	18.3%	281
製造業	21.6%	332
情報通信業	0.8%	12
運輸業	4.9%	75
卸売業	10.9%	167
小売業	13.1%	202
金融・保険業	1.9%	29
不動産業	3.9%	60
飲食・宿泊業	3.1%	48
医療・福祉	1.5%	23
教育・学習支援業	1.1%	17
サービス業	19.0%	292

6. 調査内容：

- （1）昨年末と比較して円安・株高の情勢となっていますが、当面の経営への影響について教えてください
- （2）成長戦略で期待される項目についてお答えください。
- （3）今後の経営において望まれる事項についてお答えください。

平成25年 7月 9日

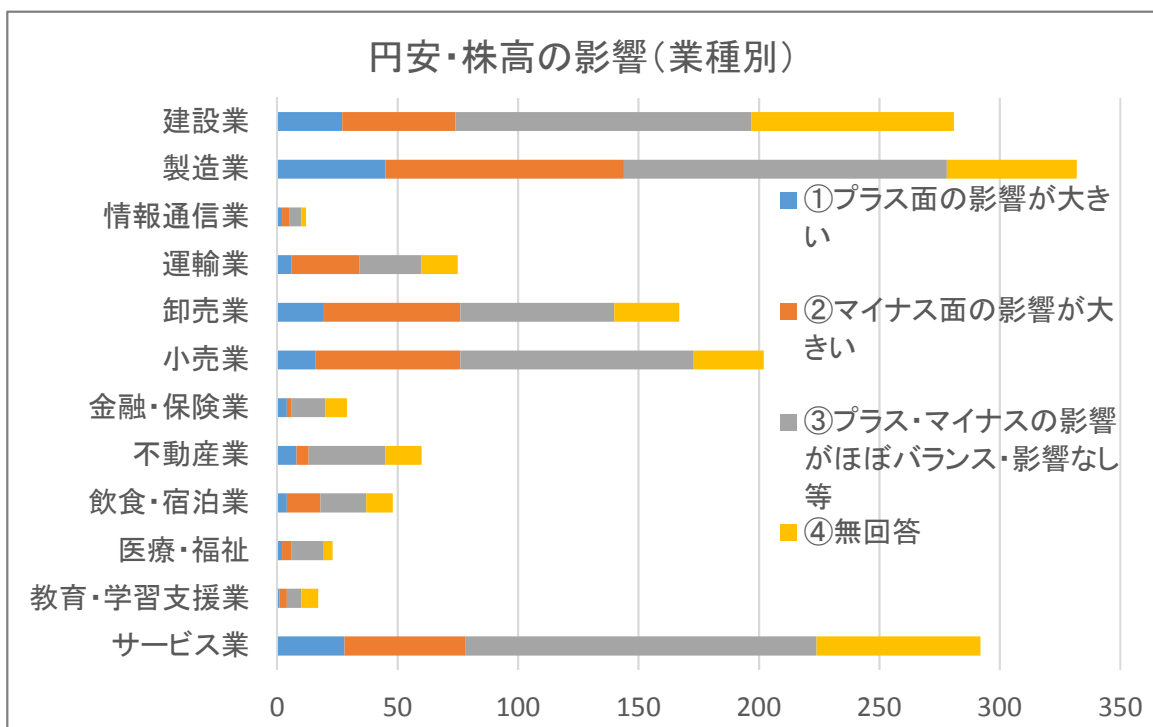
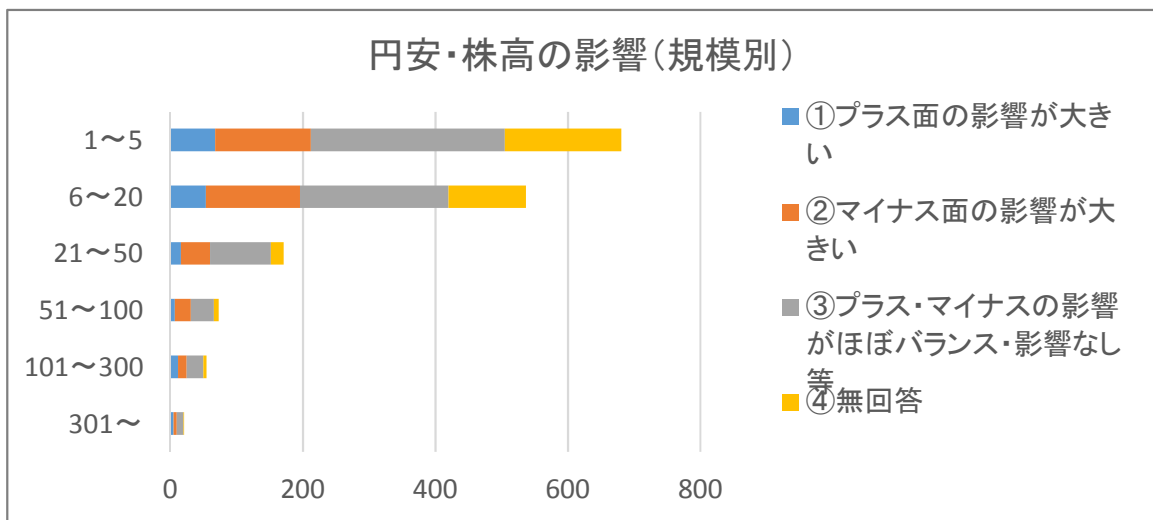
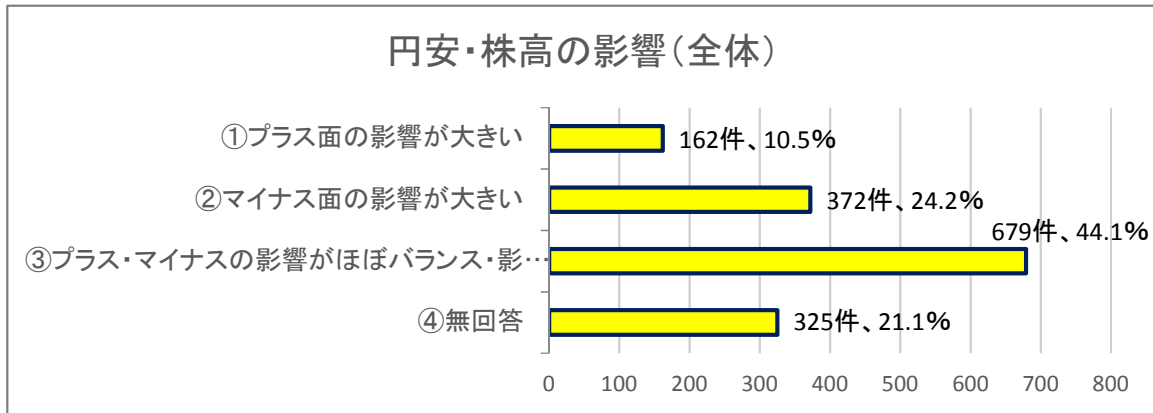
姫路商工会議所

1. 円安・株高の情勢となっていますが、当面の経営への影響についてお答えください。

○当面の影響として、円安による原材料・燃料価格等値上がりのマイナス面を指摘する声が多かった。

○「運輸業」「卸売業」「小売業」「飲食・宿泊業」では、「②マイナス面の影響が大きい」の比率が高い。

※回答事業所数：1,538件

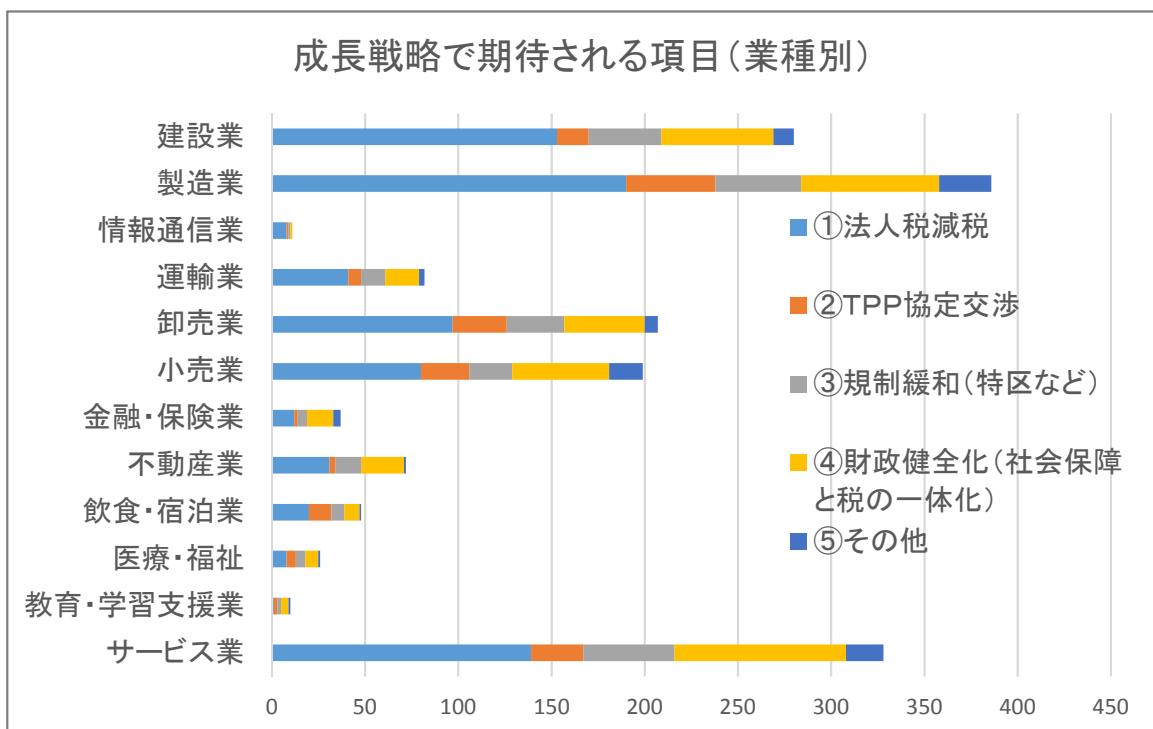
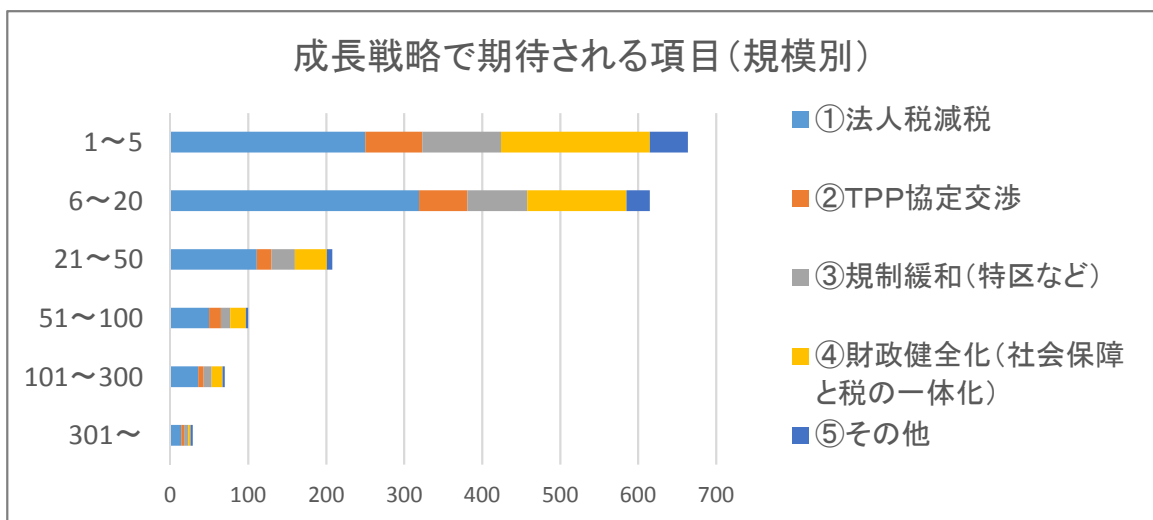
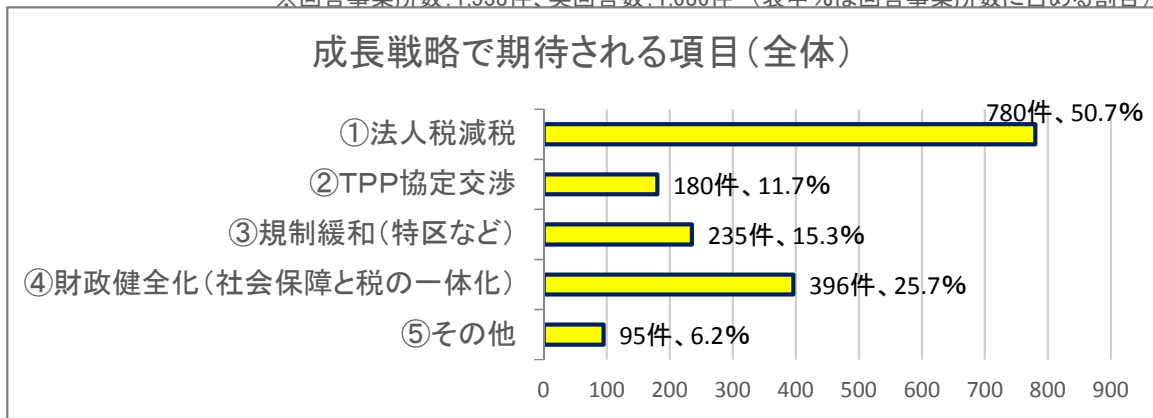


2. 成長戦略で期待される項目についてお答えください。（複数回答可）

○2社に1社が「①法人税減税」を期待する一方、「④財政健全化」を期待する声も多かった。

○規模の大きい事業所で、「①法人税減税」を期待する割合が高い。

※回答事業所数:1,538件、実回答数:1,686件（表中%は回答事業所数に占める割合）

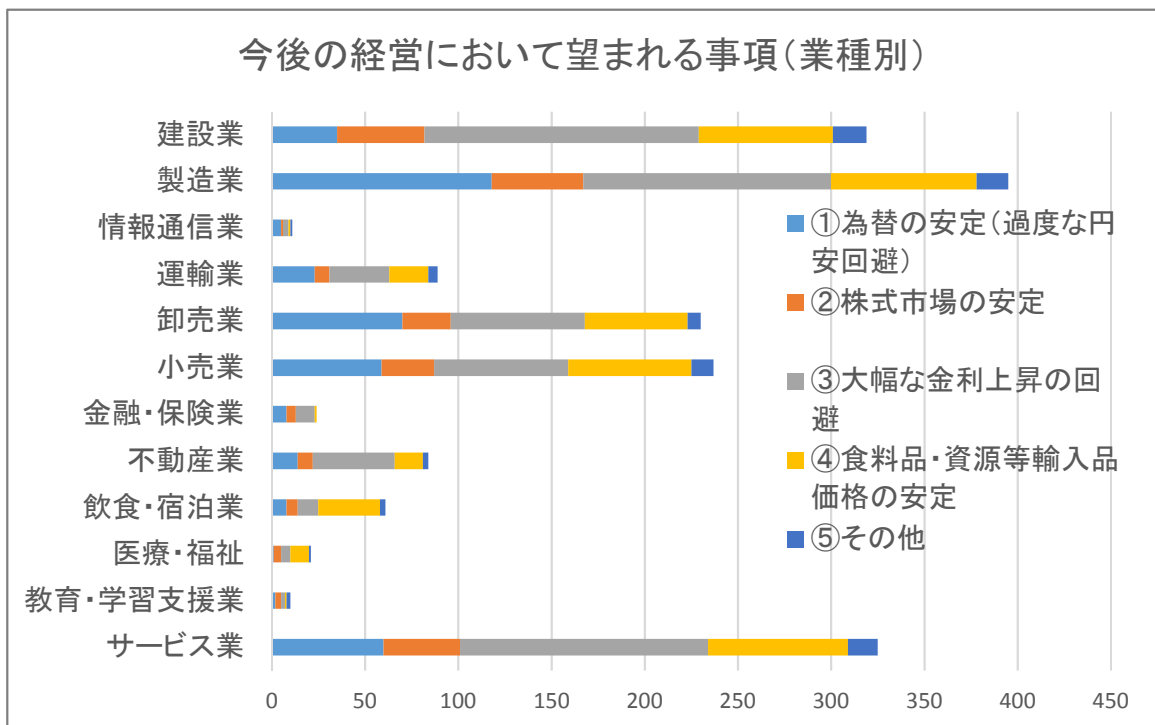
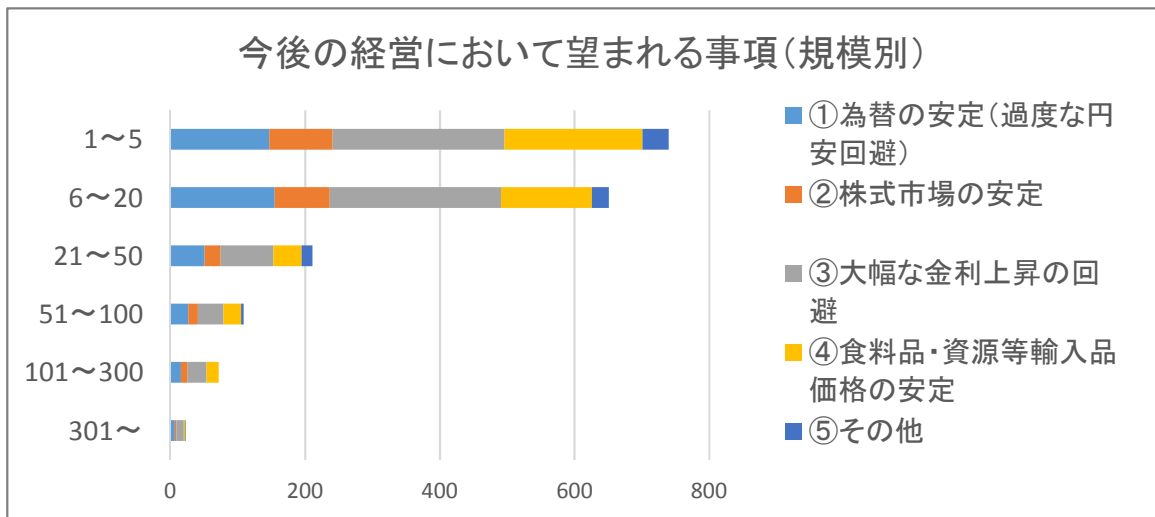
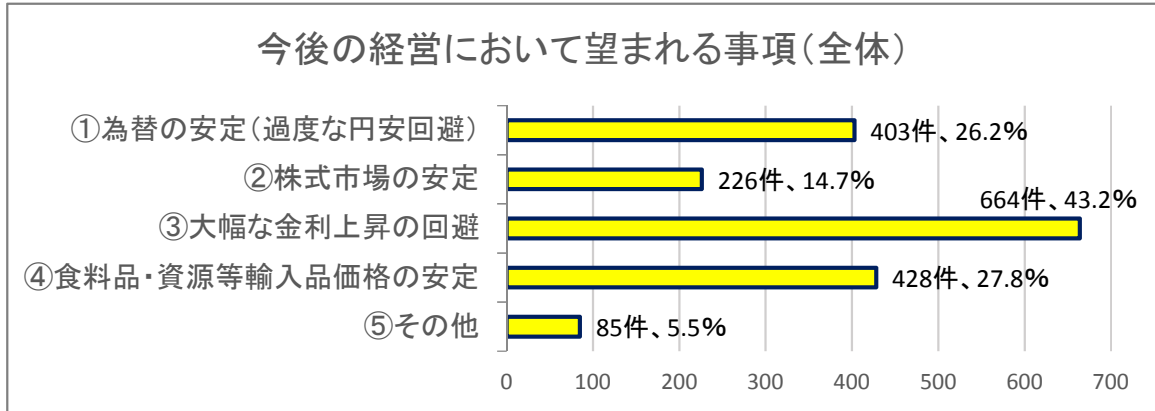


3. 今後の経営において望まれる事項についてお答えください。（複数回答可）

○「③大幅な金利の上昇回避」が第1位であった。

○「製造業」「運輸業」「卸売業」では、「①為替の安定」の比率も高く、また、「建設業」「小売業」「サービス業」では、「④食料品・資源等輸入品価格の安定」の比率も高い。

※回答事業所数：1,538件、実回答数：1,806件（表中％は回答事業所数に占める割合）



各種ご意見など(一部抜粋)

1. 「円安・株高の情勢となっていますが、当面の経営への影響についてお答えください。」について

「①プラス面の影響が大きい」と回答した理由

○民間設備投資が少みられるように思われる	建設業	6-20人
○受注数量が増加傾向にある	製造業	21-50人
○投資に関連した発注ができた	製造業	101-300人
○円安による輸出増	製造業	51-100人
○顧客が海外調達していたが国内に戻ってきた	製造業	21-50人
○景況感の好転により購買意欲が高まっている	卸売業	6-20人
○経営者の気持ち明るくなった	卸売業	6-20人
○会社保有株式の上昇による資産効果	卸売業	1-5人
○物価の値上げ感。国内的事情なのでお客様も納得。	卸売業	1-5人
○個人所得の増加が期待できる	小売業	1-5人
○有価証券の含み益が増加	金融・保険業	301人-
○不動産流通の活性化	不動産業	6-20人
○1社あたりのDM発送枚数が増加した	サービス業	6-20人
○閉塞感が払拭された。心理面で明るくなり、好影響あり。	サービス業	1-5人

「②マイナス面の影響が大きい」と回答した理由

○円安により原材料価格は高騰するが製品の販売価格の転嫁できない	製造業	301人-
○円安で燃料の価格が上昇	運輸業	6-20人
○円安によりコストが大幅に上昇している	卸売業	101-300人
○原料の高騰による仕入れ価格の上昇	小売業	6-20人
○スクラップ価格が影響を受けるため	小売業	6-20人
○長期金利が上昇しつつある。	小売業	6-20人
○魚類他食材仕入れ。円安のため仕入れ高になった	飲食・宿泊業	101-300人

「③プラス・マイナスの影響がほぼバランスしている」と回答した理由

○現在は好況のようだが先行き見通しは不明	建設業	1-5人
○円安により輸出が伸長するものの、原料輸入が割高になるため	製造業	301人-
○売上は伸びるが燃料が高騰している	運輸業	6-20人
○輸出している部分でプラスだが原材料が円安により値上げ	卸売業	51-100人
○円安・株高で心理的要因が出たがその後の急変で慎重なスタンスになった。	小売業	6-20人
○客数増だが、仕入れ単価アップしている	飲食・宿泊業	51-100人
○確信がないので疑心暗鬼	飲食・宿泊業	6-20人
○当初はプラスだったが株の乱降下でマイナスへ。しかし概ね景況感は良くなっている	サービス業	21-50人

「④その他」と回答した理由

※ 『関係なし』『影響がない』といった回答が大半であった。

2. 「成長戦略で期待される項目についてお答えください。」について (「⑤その他」と回答した理由など)

○国土強靱化によるインフラ整備	建設業	1-5人
○農地の法人化、都計法の緩和	建設業	1-5人
○エネルギー問題の前進、原発に天然ガス	製造業	51-100人
○日本製品を買ってもらえるよう運動してほしい	製造業	6-20人
○可処分所得の増加策	卸売業	101-300人
○設備投資の回復	卸売業	1-5人
○消費・購買意欲の喚起期待	サービス業	1-5人

3. 「今後の経営において望まれる事項についてお答えください。」について (「⑤その他」と回答した理由など)

○国内需要の安定(工業・農業製品を含む)	建設業	1-5人
○農政の安定政策	製造業	6-20人
○原油価格の安定	運輸業	21-50人
○将来の社会保険などによる生活の不安解消	卸売業	1-5人
○雇用の安定化 正社員	サービス業	1-5人

【参考】 回答件数内訳（規模別）

1. 円安・株高の情勢となっていますが、当面の経営への影響についてお答えください。

	①プラスの影響		②マイナスの影響		③プラス・マイナスがバランス・影響なし等		④無回答		合計
1～5	68	10.0%	144	21.1%	293	43.0%	176	25.8%	681
6～20	54	10.1%	142	26.4%	224	41.7%	117	21.8%	537
21～50	16	9.4%	44	25.7%	92	53.8%	19	11.1%	171
51～100	7	9.6%	24	32.9%	35	47.9%	7	9.6%	73
101～300	12	21.8%	13	23.6%	25	45.5%	5	9.1%	55
301～	5	23.8%	5	23.8%	10	47.6%	1	4.8%	21
全体	162	10.5%	372	24.2%	679	44.1%	325	21.1%	1538

2. 成長戦略で期待される項目についてお答えください。

	①法人税減税		②TPP		③規制緩和		④財政健全化		⑤その他		合計	回答企業数
1～5	250	36.7%	73	10.7%	101	14.8%	191	28.0%	49	7.2%	664	681
6～20	319	59.4%	62	11.5%	77	14.3%	127	23.6%	30	5.6%	615	537
21～50	111	64.9%	19	11.1%	30	17.5%	41	24.0%	7	4.1%	208	171
51～100	50	68.5%	15	20.5%	12	16.4%	20	27.4%	3	4.1%	100	73
101～300	36	65.5%	7	12.7%	10	18.2%	14	25.5%	3	5.5%	70	55
301～	14	66.7%	4	19.0%	5	23.8%	3	14.3%	3	14.3%	29	21
全体	780	50.7%	180	11.7%	235	15.3%	396	25.7%	95	6.2%	1686	1538

3. 今後の経営において望まれる事項についてお答えください。

	①為替安定		②株式市場安定		③金利上昇回避		④輸入品価格安定		⑤その他		合計	回答企業数
1～5	147	21.6%	94	13.8%	255	37.4%	205	30.1%	39	5.7%	740	681
6～20	155	28.9%	82	15.3%	254	47.3%	135	25.1%	25	4.7%	651	537
21～50	51	29.8%	24	14.0%	78	45.6%	42	24.6%	16	9.4%	211	171
51～100	27	37.0%	14	19.2%	38	52.1%	26	35.6%	4	5.5%	109	73
101～300	16	29.1%	10	18.2%	28	50.9%	18	32.7%	0	0.0%	72	55
301～	7	33.3%	2	9.5%	11	52.4%	2	9.5%	1	4.8%	23	21
全体	403	26.2%	226	14.7%	664	43.2%	428	27.8%	85	5.5%	1806	1538

【参考】 回答件数内訳（業種別）

1. 円安・株高の情勢となっていますが、当面の経営への影響についてお答えください。

	①プラスの影響		②マイナスの影響		③プラス・マイナスがバランス・影響なし等		④無回答		合計
建設業	27	9.6%	47	16.7%	123	43.8%	84	29.9%	281
製造業	45	13.6%	99	29.8%	134	40.4%	54	16.3%	332
情報通信業	2	16.7%	3	25.0%	5	41.7%	2	16.7%	12
運輸業	6	8.0%	28	37.3%	26	34.7%	15	20.0%	75
卸売業	19	11.4%	57	34.1%	64	38.3%	27	16.2%	167
小売業	16	7.9%	60	29.7%	97	48.0%	29	14.4%	202
金融・保険業	4	13.8%	2	6.9%	14	48.3%	9	31.0%	29
不動産業	8	13.3%	5	8.3%	32	53.3%	15	25.0%	60
飲食・宿泊業	4	8.3%	14	29.2%	19	39.6%	11	22.9%	48
医療・福祉	2	8.7%	4	17.4%	13	56.5%	4	17.4%	23
教育・学習支援業	1	5.9%	3	17.6%	6	35.3%	7	41.2%	17
サービス業	28	9.6%	50	17.1%	146	50.0%	68	23.3%	292
総計	162	10.5%	372	24.2%	679	44.1%	325	21.1%	1538

2. 成長戦略で期待される項目についてお答えください。

	①法人税減税		②TPP		③規制緩和		④財政健全化		⑤その他		合計	回答企業数
建設業	153	54.4%	17	6.0%	39	13.9%	60	21.4%	11	3.9%	280	281
製造業	190	57.2%	48	14.5%	46	13.9%	74	22.3%	28	8.4%	386	332
情報通信業	8	66.7%	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	0	0.0%	11	12
運輸業	41	54.7%	7	9.3%	13	17.3%	18	24.0%	3	4.0%	82	75
卸売業	97	58.1%	29	17.4%	31	18.6%	43	25.7%	7	4.2%	207	167
小売業	80	39.6%	26	12.9%	23	11.4%	52	25.7%	18	8.9%	199	202
金融・保険業	12	41.4%	2	6.9%	5	17.2%	14	48.3%	4	13.8%	37	29
不動産業	31	51.7%	3	5.0%	14	23.3%	23	38.3%	1	1.7%	72	60
飲食・宿泊業	20	41.7%	12	25.0%	7	14.6%	8	16.7%	1	2.1%	48	48
医療・福祉	8	34.8%	5	21.7%	5	21.7%	7	30.4%	1	4.3%	26	23
教育・学習支援業	1	5.9%	2	11.8%	2	11.8%	4	23.5%	1	5.9%	10	17
サービス業	139	47.6%	28	9.6%	49	16.8%	92	31.5%	20	6.8%	328	292
総計	780	50.7%	180	11.7%	235	15.3%	396	25.7%	95	6.2%	1686	1538

3. 今後の経営において望まれる事項についてお答えください。

	①為替安定		②株式市場安定		③金利上昇回避		④輸入品価格安定		⑤その他		合計	回答企業数
建設業	35	12.5%	47	16.7%	147	52.3%	72	25.6%	18	6.4%	319	281
製造業	118	35.5%	49	14.8%	133	40.1%	78	23.5%	17	5.1%	395	332
情報通信業	5	41.7%	1	8.3%	3	25.0%	1	8.3%	1	8.3%	11	12
運輸業	23	30.7%	8	10.7%	32	42.7%	21	28.0%	5	6.7%	89	75
卸売業	70	41.9%	26	15.6%	72	43.1%	55	32.9%	7	4.2%	230	167
小売業	59	29.2%	28	13.9%	72	35.6%	66	32.7%	12	5.9%	237	202
金融・保険業	8	27.6%	5	17.2%	10	34.5%	1	3.4%	0	0.0%	24	29
不動産業	14	23.3%	8	13.3%	44	73.3%	15	25.0%	3	5.0%	84	60
飲食・宿泊業	8	16.7%	6	12.5%	11	22.9%	33	68.8%	3	6.3%	61	48
医療・福祉	1	4.3%	4	17.4%	5	21.7%	10	43.5%	1	4.3%	21	23
教育・学習支援業	2	11.8%	3	17.6%	2	11.8%	1	5.9%	2	11.8%	10	17
サービス業	60	20.5%	41	14.0%	133	45.5%	75	25.7%	16	5.5%	325	292
総計	403	26.2%	226	14.7%	664	43.2%	428	27.8%	85	5.5%	1806	1538

調査用紙(関係部分抜粋)

○【特別調査】 アベノミクス効果の影響等調査について

1. 昨年末と比較して円安・株高の情勢となっておりますが、
当面の経営への影響についてお答えください。

	2012/12/28時点	2013/6/18時点
為替	96.31-33	95.09-10
日経平均株価	10,395円18銭	13,007円28銭

- ① プラス面の影響が大きい(その理由: _____)
 ② マイナス面の影響が大きい(その理由: _____)
 ③ プラス・マイナスの影響がほぼバランスしている(その理由 _____)
 ④ その他(_____)

2. 成長戦略で期待される項目についてお答えください。(複数回答可)

- ① 法人税減税 ② TPP協定交渉 ③ 規制緩和(特区など) ④ 財政健全化(社会保障と税の一体改革)
 ⑤ その他(_____)

3. 今後の経営において望まれる事項についてお答えください。(複数回答可)

- ① 為替の安定(過度な円安回避) ② 株式市場の安定 ③ 大幅な金利上昇の回避
 ④ 食料品・資源等輸入品価格の安定 ⑤ その他(_____)

【 問い合わせ先 】

姫路商工会議所 総務部

〒670-8505 姫路市下寺町43番地

TEL : 079-223-6550 (直通)

FAX : 079-288-0047

URL : <http://www.himeji-cci.or.jp/>